

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
多発性骨髄腫 DaraBd sc療法(4-8コース)		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
d1	① レナデックス 20mg、カロナール 400mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠 6mg § ダラキューロ投与1時間前までに内服。問題なければ15分前まで短縮可。 ② <b>ダラキューロ配合皮下注</b> 1800 mg 投与1時間前までにレナデックス20mg、カロナール400mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠 6mg内服。問題なければ15分前まで短縮可。 調製後4時間以内に投与完了。 臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与する。		
d2,4,5,8,9,11,12	① レナデックス 20mg		
d1,4,8,11	① <b>ベルケイド</b> 1.3 mg/m <sup>2</sup> + 生食 0.52mL/m <sup>2</sup> ベルケイドは最終濃度2.5mg/mLになるように溶解する。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、投与部位をローテーションする。(右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など) ダラキューロと同一部位にベルケイドを投与しないこと。		
コメント	day1,2,4,5,8,9,11,12にレナデックス20mg内服。 ダラキューロ投与1時間前までにレナデックス20mg+d-クロルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠6mg+カロナール400mg内服する。問題なければ15分前まで短縮可。		
プロトコールに関する解説			